

第 4 次男女共同参画プランまるがめ

担当課長による令和 6 年度事業評価

丸亀市総務部人権課男女共同参画室

目 次

担当課長による事業評価

秘書課（秘書政策課）	1
秘書課広報戦略室（広聴広報課）	2
職員課	3
危機管理課	4
庶務課	5
人権課	6
男女共同参画室	7
地域づくり課（生涯学習課、生活環境課）・	8
まなび文化課（生涯学習課）	9
図書館	10
スポーツ推進課	11
福祉課	12
子育て支援課	13
高齢者支援課	14
健康課	15
都市計画課	16
建設課	17
建築住宅課（住宅課）	18
産業観光課	19
農林水産課	20
消防総務課	21
教育総務課	22
学校教育課	23
幼保運営課	24
議会事務局	25
選挙管理委員会	26

(令和6年度事業の評価)

担当課	秘書課(秘書政策課)
-----	------------

【秘書課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	7	【4】	113	C	外国人相談業務を積極的に行うとともに、日本語教室開催により、外国人住民の日本語学習機会の確保に努めた。また、ホームページやSNS等を活用して、丸亀市で暮らす多くの外国人との交流の様子の紹介や、わかりやすさにも配慮した必要な情報の発信を行うことで、外国人にとって暮らしやすい環境の一助となるよう努めている。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	秘書課広報戦略室(広聴広報課)
-----	-----------------

【秘書課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	1	【1】	5	C	情報発信時には男女偏らない表現となるような配慮を継続的に実施している。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	職員課
-----	-----

【職員課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【2】	32	B	いずれの施策も、短期的な成果の検証にはなじまず、それぞれの目標に向けて中長期的に地道に継続していくことが必要であり、取組を維持している点を踏まえてB評価とした。
◎、○	4	【3】	45	B	
◎、○	5	【2】	79	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	危機管理課
-----	-------

【危機管理課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【4】	36	B	・各地区の自主防災組織に働きかけを行った結果、防災士資格の取得者11人のうち女性は7人であり、6割を超える状況となった。 ・男女共同参画の視点をさらに追加した改訂版避難所運営マニュアルを作成し、自主防災組織に通知するとともに、ホームページで公表し、周知を図った。
◎	3	【4】	39	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	庶務課
-----	-----

【庶務課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【2】	42	B	市発注工事において、週休2日工事を実施することで、企業におけるワークライフバランスの向上に寄与している。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	人権課
-----	-----

【人権課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	1	【2】	8	B	・人権や男女共同参画に関する調査を行い実態把握することで、問題点を明確にできた。
◎	7	【5】	114	B	・当事者による研修会や講演会を開催することで、当事者の立場に立って考え、相互理解に向けての意識が高まった。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	男女共同参画室
-----	---------

【人権課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	1	【1】	1	C	市政参画への意識啓発を図るとともに、女性の視点を生かした意見・提案などを市政に反映することを目的に、女性議会を開催し、公募による10名の参加者がより良いまちづくりへの思いを発言する機会となった。 また、男性の育児参画を促進するための市内中小企業等への育児休業取得促進奨励金支給のほか、瀬戸内中讃定住自立圏域内において継続的に企業向けの講演会を実施するなど、男女共に仕事と家庭を両立しやすい職場づくりの促進に努めた。 男性の家事・育児参画は年々増加しているものの、依然として女性の負担が大きい状況にあるため、引き続き、パネル展や男女共同参画啓発紙の全戸配布など、より広くより多くの市民が男女共同参画の意識を高められるよう取り組んでいく。
◎、○	1	【1】	4	C	
○	1	【1】	6	C	
	1	【2】	7		
	1	【2】	9		
○	2	【3】	15	C	
◎、○	2	【3】	18	C	
○	3	【1】	27	B	
○	3	【2】	31	C	
◎、○	3	【2】	33	C	
○	3	【3】	34	C	
○	3	【4】	37	C	
○	4	【1】	40	C	
○	4	【2】	43		
○	4	【3】	46	B	
	4	【10】	63		
	4	【10】	68		
	4	【10】	70		
○	5	【1】	74	C	
	5	【1】	77		
○	5	【2】	80		
	5	【3】	82		
○	6	【1】	86	C	
	6	【1】	90		
○	6	【2】	91	B	
	6	【3】	92		
	6	【3】	93		
	6	【6】	97		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	地域づくり課(生涯学習課、生活環境課)
-----	---------------------

【地域づくり課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【10】	69	B	コミュニティ・連合自治会の役員等については、女性を地域役員へ登用する動きが進み、女性が活動の中心を担う機会が増化する傾向にある。
◎、○	4	【10】	71	C	多様な主体における市民活動の促進においては、活動者のニーズにあった機会創出に努め、参加者の増加に努めたい。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	まなび文化課(生涯学習課)
-----	---------------

【まなび文化課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	2	【3】	16	B	16.地域コーディネーター養成塾は、受講要件を見直し、対象者を拡大することにより、若い世代の参加が得られた。
◎	2	【3】	19	C	19.夫婦で参加する受講者もあり、男女共に学ぶ機会の提供となったが、参加人数が少ないため、より参加しやすい環境の整備や対象者の拡大など見直しを図る必要がある。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	図書館
-----	-----

【図書館長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	1	【1】	2	C	昨年度と同様、男女共同参画に関する展示とおはなし会を実施し、来館者の周知啓発を行った。
	2	【3】	17		
◎	4	【10】	66		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	スポーツ推進課
-----	---------

【スポーツ推進課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	1	【1】	3	B	研修会では、男女共同参画プランに沿い参加者のひとりひとりに理解を深めることができた。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	福祉課
-----	-----

【福祉課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	2	【6】	24	C	目標2【6】24について生理の貧困対策については、昨年同様災害備蓄品を活用し生理用品の配布を行った。 目標4【6】52について相談支援事業所との緊密な連携により、障がい児やその家族の必要に応じたサービス等の提供に対応することができた。利用者のニーズが多様化するなか、障がい児通所支援の利用実績は年々増加しており、また令和6年度中に障害児通所支援事業所が2箇所開所し、必要なサービスの提供体制の整備が進んだ。 目標7【1】100の学習支援の実施については、昨年同様の開催数を確保できた。
◎、○	4	【6】	52	B	
◎	7	【1】	100	C	
	7	【2】	104		
	7	【3】	109		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	子育て支援課
-----	--------

【子育て支援課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	4	【6】	50	B	50②病児保育について 現在は安定した支援ができています。 施設の増設については、こども計画策定に係るアンケートの結果により、丸亀市南部での設置希望が一定数あるため引き続き検討していく。 57①ファミリー・サポート・センター登録者数 現在は安定した支援はできています。 対象年齢児童の減少により登録者数も減少傾向にある。利用状況を参考に、支援実施に必要な人員の確保に努める。
	4	【6】	53		
	4	【6】	56		
◎、○	4	【6】	57	B	
◎	6	【1】	87	B	
◎	6	【4】	94	B	
	6	【4】	95		
	6	【5】	96		
	6	【6】	98		
	6	【6】	99		
	7	【1】	101		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	高齢者支援課
-----	--------

【高齢者支援課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	4	【7】	60	C	介護職域における人材育成、確保については課題であるものの、介護保険制度の中で決められるものであり、市独自の取り組みが難しいと考えている。 高齢者などに対する介護支援の充実や高齢者が安心して暮らせる環境の整備については、認知症カフェの開催場所の増加やランチなどの身近な相談場所の設置、介護教室での啓発活動により、安心した生活支援につながっていると考えている。
◎	4	【9】	62	C	
	4	【10】	65		
◎	7	【2】	105	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	健康課
-----	-----

【健康課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	2	【5】	22	B	企業等の定年延長に伴い、退職後に地域活動へシフトする層が激減していると感じる。 また、コロナ禍を経て、人や社会との関係に対する考え方が多様となり、働き世代へのアプローチがかなり困難になっており、新たな取り組みを試行錯誤している状態ということで、ほぼC評価となった。 そんな中で、マルタスを会場としたイベントは、子育て世代の自然な参加ができ、新たな取組として手ごたえを感じB評価とした。
○	2	【5】	23	C	
	2	【6】	25		
	2	【6】	26		
◎	4	【4】	47	C	
◎、○	4	【10】	64	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	都市計画課
-----	-------

【都市計画課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【5】	49	C	引き続き、届出制度を適正に運用した。 新規の公園の計画的な整備を進めることができた。
◎	4	【10】	72	B	
	7	【2】	106		
	7	【3】	110		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	建設課
-----	-----

【建設課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	7	【2】	108	C	幹線道路の整備や生活道路での舗装修繕など建設課が実施する事業は、計画的な実施となったことから評価としては「C」としたが、成果としては予定どおりのものとなっている。
◎	7	【3】	112	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	建築住宅課(住宅課)
-----	------------

【建築住宅課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【10】	73	B	飯山北コミュニティセンター、城東小学校校舎内、飯山総合運動公園体育館内にベビーチェアー、ベビーベット等を備えた男性トイレや多目的トイレを整備し、男性が子育てに参画しやすくなる為の環境整備を推進した。
	7	【1】	102		
	7	【2】	107		
	7	【3】	111		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	産業観光課
-----	-------

【産業観光課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	3	【3】	35	C	意思決定の場への女性参画推進については、目標値には届かなかったものの年間207件の企業訪問を行い、女性活躍推進やワークライフバランス等についてのニーズや状況把握に努めた。 働き方改革の推進については、キッズウィーク推進協議会を中心に「丸亀こどもデー」を実施し、キッズウィーク期間中は関係各課・各種団体・市内事業者により、関連イベント等を開催するなど、「子どもの学校・園の休業日」と「大人の有給休暇取得」による休みをマッチングし、家族が一緒に休日を過ごす機会を創出した。 また、創業支援については、「創業支援事業補助金」を交付した女性の割合が約62.5%、創業相談の女性の割合が約60.4%であり、女性の創業支援につながった。
◎、○	4	【1】	41	C	
○	4	【2】	44	C	
○	4	【4】	48	C	
◎	5	【1】	75	B	
◎	5	【1】	76	B	
	5	【1】	78		
	5	【2】	81		
	5	【3】	83		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	農林水産課
-----	-------

【農林水産課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	5	【3】	84	C	構成員に大きな変化はなかったため

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	消防総務課
-----	-------

【消防総務課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【4】	38	B	普及啓発活動を行い、1名の新入団があり、団員数の増加には繋がった。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	教育総務課
-----	-------

【教育総務課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【6】	58	C	・働く子育て世代が安心して子どもを預けることができるよう安定的な運営や適切な施設整備を行った。
◎	7	【1】	103	C	・支援が必要な家庭へ援助が届くよう、庁内関係各課と連携し制度の周知を徹底した。

◎: 事業計画あり

○: 数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	学校教育課
-----	-------

【学校教育課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
	2	【1】	10		・教職員や児童生徒に今まで以上に一人一人の個性を大切に する意識が生まれてきている。 ・今までに「当たり前」としてあったものを見直すきっかけになっ ている。 ・発達段階に応じた指導を教育活動に位置付けたことにより、 教職員の意識が高まってきている。 ・教育相談の機会や生徒指導アンケートを活用し、教職員が生 徒の変化に気づきやすい状況を作っている。
◎	2	【1】	12	B	
	2	【2】	14		
◎	2	【4】	20	C	
	3	【1】	28		
	4	【6】	54		
◎	6	【1】	88	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	幼保運営課
-----	-------

【幼保運営課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
	2	【1】	11		「男女の性をともに理解・尊重する意識の浸透」については、子どもに対して日々の保育・教育を通して生命の大切さを伝えることができた。「保育士の確保」については、積極的に事業を実施し、男女の均衡あるワークライフバランスの推進に寄与した。そして、「あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施」については、保護者・職員ともに、研修の機会を設け、暴力根絶に対する意識の浸透を図れた。
	2	【1】	13		
◎	2	【4】	21	C	
○	4	【6】	51	C	
	4	【6】	55		
	4	【6】	59		
◎、○	4	【8】	61	B	
	4	【10】	67		
◎	6	【1】	89	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	議会事務局
-----	-------

【議会事務局次長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	3	【1】	29	B	議会報告会と学生との意見交換会を合同開催し、幅広い年齢層と意見交換ができ、政治への関心を高める取組を行うことができた。また、令和6年度は125名中、約4割の47名の女性が議会を傍聴された。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

(令和6年度事業の評価)

担当課	選挙管理委員会
-----	---------

【選挙管理委員会事務局長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【1】	.30	C	目標に届かなかったが、施策は実施している

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。